

13

柔道競技 実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期 日 令和2年10月31日(土) 9:00～ 監督審判会議
9:45～ 開会式
10:00～ 団体戦競技開始
11月1日(日) 9:00～ 監督審判会議
9:30～ 個人戦競技開始
- 3 場 所 昭和電工武道スポーツセンター
- 4 競技規則 (1) 国際柔道連盟試合審判規定による。
(2) 男女試合時間は、4分とする。
(3) 団体試合は、優勢勝ちの判定基準は、「技有」以上とする。技による評価が同等の場合は、「僅差」で判定する。但し、僅差は「指導差が2」以上とする。対戦内容が同等の場合は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。代表戦の判定基準は団体試合に準じて行うが、得点差がない場合は、個人戦に準じた判定基準で延長戦(ゴールデンスコア)を実施し、勝敗を決する。
(4) 個人試合は、優勢勝ちの判定基準は、「技有」以上とする。技による評価が同等の場合は、「僅差」で判定する。但し、僅差は「指導差が2」以上とする。技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。(技の効果、指導1リードで勝ちとする)
- 5 競技種目 団体戦および個人戦とする。
- 6 競技方法 (1) 団体戦はトーナメント方式で行い、ベスト4から決勝リーグを行う。
(2) 個人の部については、男女別に以下の7階級とする。
ア. 男子 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 90kg級 100kg級 100kg超級
イ. 女子 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 70kg級 78kg級 78kg超級
ウ. 試合方式はトーナメント方式で行うが、3名の場合はリーグ戦を行う。
エ. 体重測定は、10月31日(土)団体戦終了後、1時間以内に実施する。
なお、時間に遅れた者及び体重オーバーの者は失格とする。
オ. 九州大会補欠決定戦を行う。
- 7 参加資格 (1) 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
(2) 全日本柔道連盟に登録していること。
- 8 参加制限 (1) 団体戦
① 男子のチーム編成は、監督1名・選手5名、補欠2名の計8名以内とする。
② 女子のチーム編成は、監督1名・選手3名、補欠1名の計5名以内とする。
(2) 個人戦
① 男女ともにフリーとする。
- 9 参加申込 (1) 期限 令和2年10月7日(水) 必着
(2) 方法 申込用紙は高体連ホームページから入手し、下記により期限内に申込み。
ア. 様式にて男・女を別紙に作成する。各1部印刷・捺印して下記に郵送する。
イ. 校長の承認を得た申込電子データは、メールで送信する。
(3) 宛先 〒870-8560 大分県大分市新春日町2-1-1 大分西高校 阿部栄一郎 まで
メールアドレス abe-eiichirou@oen.ed.jp <データ申込期限: 10月8日(木)正午必着>
- 10 参加負担金 選手1人(補欠を含むエントリー)加盟校6000円・非加盟校10000円。大会当日の受付で納入する。
- 11 出場権の獲得 団体上位4校(女子3校)と個人2位までに九州高等学校新人柔道大会(11月14・15日:沖縄県)の出場資格を与え中止
- 12 組合抽選 (1) 令和2年10月15日(木) 9時～ 大分工業高校 豊工会館
(2) 組み合わせ抽選は、支部代表による専門委員会で抽選基準に基づいて行う。
- 13 連絡事項 (1) オーダーの変更は認めないが、事故があるときは、10月30日までに変更届けを出し監督会議においてのみ補欠交代を認める。
(2) 補欠の交代は交代者の位置に入れ、一度退いた選手は再び競技に出場することはできない。
(3) 組合せについて《団体》ア. 4校の実力シード制とする。
イ. 過去の実績を考慮しながら専門委員会で決定する。
《個人》ア. 過去の実績を考慮しながら専門委員会で決定する。
イ. 同一校は初戦以降から対戦するよう配慮する。
(4) 脳振盪の対応について
① 大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
② 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して該大会に出場することは不可とする。
(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
④ 該当選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- 14 感染症等の対策 (1) 本年度の新人大会については、全競技において無観客とする。保護者・一般観戦者は入場できない。
(2) 参加に際しては、「参加同意書」を提出すること。
(3) 感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。

感染症等の対策に関する留意事項について

柔道競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること。
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 柔道競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・本大会は、無観客試合で実施するため関係者以外は会場への入場禁止（保護者も不可）。
- ・会場内には消毒液・除菌ウェットティッシュ・体温計を設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場では、密集や近距離での会話や大声での発声を避ける。競技開始前に選手へ指導する。
- ・選手への重要な連絡は、放送（マイク）を使用する。
- ・選手待機場所は、道場2とし各選手間隔を約2mとって座らせる。状況を見ながら放送（マイク）により注意・指導を行う。
- ・大会前日と当日の腋下体温を引率責任者に報告する。
（各学校の監督は、監督会議において選手の体温報告書を提出する）
- ・試合前後は、必ずマスクを着用し観客席で待機すること。また、隣と約2mの間隔とって座ること。
- ・共有する器具等を触った手で口や目は触らずに、入念に手洗いまたは、手指消毒をすること。
- ・各自（校）ゴミは、全て持ち帰る。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・事前に、新型コロナウイルスの具体的留意点（この用紙の内容）を選手に周知徹底する。

【競技役員】

- ・大会前日と当日の2日間連続で腋下体温37度を超える者は、審判・役員の業務はできない。
(各学校の監督は監督会議において選手と引率・指導者の体温報告書を提出する)
- ・本大会は、無観客試合で実施するため関係者以外は会場に入場できない(保護者も不可)。
- ・会場内には消毒液・除菌ウェットティッシュ・体温計を用意する。(別紙参照)
- ・会場では、マスク着用、手洗い(特に、用器具に触れた場合)、うがいを義務とする。(選手も同様)
- ・会場では、密集や近距離での会話や大声での発声を避ける。選手にも競技前に指導する。
- ・選手に指示をするときは、放送(マイク)を使用すること。
- ・審判人数は、競技の状況にもよるが少数とする。
- ・選手待機場所は、道場2とし各選手間隔を約2mとって座らせる。状況を見ながら放送(マイク)により注意・指導を行うこと。

【選手】

- ・大会前日及び当日の2日間連続、または、当日の朝に初めて腋下体温が37度を超える場合には参加・観戦はできないこととする。
- ・大会前日及び当日の腋下体温を引率責任者に報告する。
(各学校の監督は監督会議において選手の体温報告書を提出する)
- ・競技場内や競技中は、近距離での会話や大声での発声を避け、隣との間隔を約2mあける。
- ・ウォーミングアップやダウンは、道場2(及び試合前であれば道場3も可)を使用する。
- ・試合前後は、必ずマスクを着用し観客席で待機すること。また、隣との間隔を約2mとって座ること。
- ・共有する器具を触った手で口や目を触らずに、入念に手洗いまたは、手指消毒をすること。
- ・表彰は、行わず各学校の監督に渡す。
- ・各自(校)のゴミは、全て持ち帰る。
- ・重要な連絡は放送でアナウンスするので、適切に対応すること。

【顧問・引率者・指導者(外部指導者も含む)】

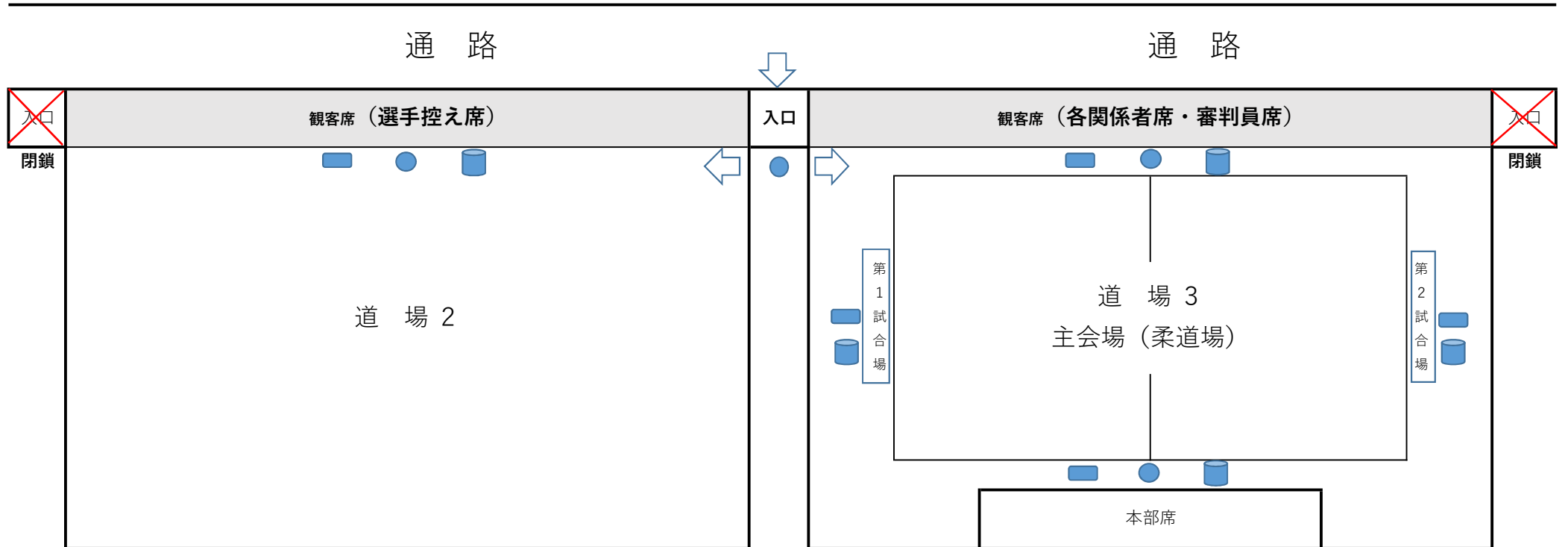
- ・大会前日及び当日の2日間連続で、腋下体温37度を超える場合は来場できないこととする。
- ・事前に、新型コロナウイルスの具体的留意点(この用紙の内容)を選手に周知徹底すること。
- ・待機場所では、約2mの間隔をとって座る。
- ・マスク着用(義務化)の上、飛沫感染防止のため近距離での会話や大声での発声を避ける。

柔道 試合会場 レイアウト

(昭和電気武道スポーツセンター)

2020. 10. 31

11. 01



1. 入口で必ず手指を消毒する。
2. 観客席 (選手控え席) 前、各試合場、本部席には除菌ウエットティッシュを設置しているので利用すること。

